

決算常任委員会総括質疑順位

令和元年（2019年）8月30日

発言時間（答弁時間を含む）

1. 坂口 妙子 （公 明 党） 50分以内

発 言 通 告 書

2019 年 8 月 28 日

吹田市議会決算常任委員会委員長 後藤 恭平 様

吹田市議会決算常任委員会委員 坂口 妙子

次のとおり発言したいから、吹田市議会決算常任委員会に関する運営要領第 13 条第 2 項、第 7 項及び第 8 項の規定により通告します。

| | |
|--|-------------|
| 発言の種類 | 総 括 質 疑 |
| 質問方式 | 一 問 一 答 方 式 |
| 発 言 の 要 旨 | |
| 一、基幹管路の耐震化について【市長】 | |
| ・第 11 次吹田市水道事業経営審議会の答申に「耐震化効果の高い路線の整備を優先的に進めること」とあるが、現在の耐震化計画を示せ。 | |
| ・平成 30 年度吹田市公営企業会計決算審査意見書に、耐震化率は目標に達しなかったとあるが、本市の危機管理体制上、十分と言えるのか。 | |
| ・事業計画通りに耐震化を進めるために、資金の繰り入れを行うべきではなかったか。 | |
| 一、水道施設・管路の老朽化について【市長】 | |
| ・平成 30 年度まで 3 年間の値上げをした結果、どこまで施設・管路の老朽化対策は進んだのか。 | |
| 一、効率的・効果的な下水道経営の推進について【市長】 | |
| ・平成 29 年度から公営企業会計に移行し 2 年が経過し、他市との経営比較が可能となるなど経営状態を客観的に把握できるようになったが、以前の事業運営とどう変わったか。 | |
| ・公営企業会計に移行し、職員の経営意識の変化は？ 財政の見える化を図り、市民に対しての説明をどのように行っているのか？ | |
| ・民間活用について | |
| 一、資産維持費の算入、資産維持の考え方を明確にせよ【市長】 | |
| ・災害時対応として、下水のスペックをアップさせる必要性が予想されるが、資産維持費の算入はどうなっているのか。 | |

一、投資資産と、財政資産の検討について示せ【市長】

投資では、ダウンサイジング、スペックダウン、長寿命化、過剰・重複投資の見直し、優先順位が低い事業の取りやめ等をどのように取り組んだかを示し、財政資産である内部留保額の見直しや料金の見直しなどの検討について示せ。

備考・発言通告書の提出期限は、8月28日（水）午後3時までです。

・発言の要旨の記載は、所管部(室・課)が分かるように具体的に記入してください。